

第3回 公共施設のあり方検討 市民ワーキングが開催されました

2017年10月14日(土) 13:30~16:30 【参加：18人】

★ 公共施設の種類ごとにみんなで課題を抽出しました



公共施設の老朽化が全国的に問題となっています。長久手市では、今後各個別の施設の維持・更新などを考えていく上で、その基本的な考え方を示した「**公共施設等総合管理計画**」を、**市民の意見も踏まえて更新**していく取組みを進めているところです。

第1回は公共施設を取り巻く現状など市からの説明を受け、第2回は実際に市内の様々な公共施設の現場を巡りました。

《プログラム》

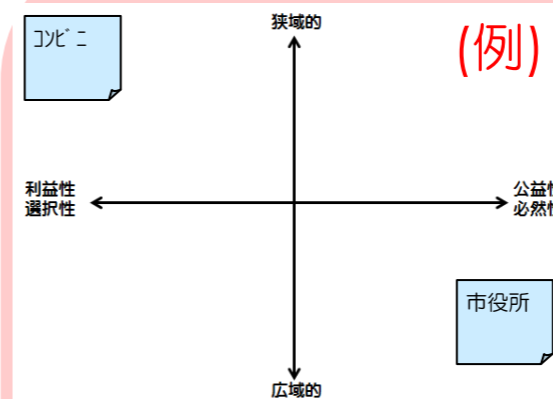
- あいさつ 13:30
- これまでの振り返り 13:35
- グループワーク① 14:00
『性質別施設の分類』
- グループワーク② 15:10
『優先検討事項の抽出』
- 結果発表 16:15

今回は、市職員からのこれまでのワーキングの振り返りのあと、**様々な公共施設等を「性質別」に分類**し、それぞれの施設に関して「**本来求められるもの**」、「**現状の課題**」は**何なのか等**を話し合ったので、その結果をお伝えします。

ファシリテーター:
名古屋大学大学院
恒川和久准教授



★ グループワーク①・②



グループワーク① (公共施設分類)

みんなで思いつく民間・公共あらゆる施設の名前をふせんに書き、左の図のマップに貼っていく。

左端に近い…利益性・選択制があり、誰でもというよりは一部の人が利用するような施設

右側に近い…公益性・必然性があり、公共として持つべき施設

上側に近い…校区・自治会単位など狭い地域での利用が想定される施設

下側に近い…市全域・近隣市など広い地域での利用が想定される施設



そういえば、長久手にはこんな施設もあったな！

この施設はどこに位置づけられるかな？
本当に公共が持つ必要ってあるのかな？



グループワーク② (優先検討事項の抽出)

グループワーク①で作成したマップの右上の領域から1つ、右下の領域から1つ、議論したい施設を選んで、その施設に「本来求められるもの」と「現状の課題」を洗い出す。

施設類型・施設名 (例)

◀ 本来求められるもの ▶

気軽に使える

◀ 現状の課題 ▶

利用率低い

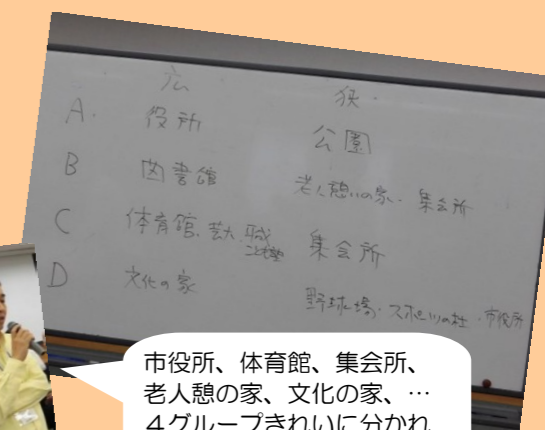


こうあるべきなんだけど、この施設、実際はこんな問題が…！！

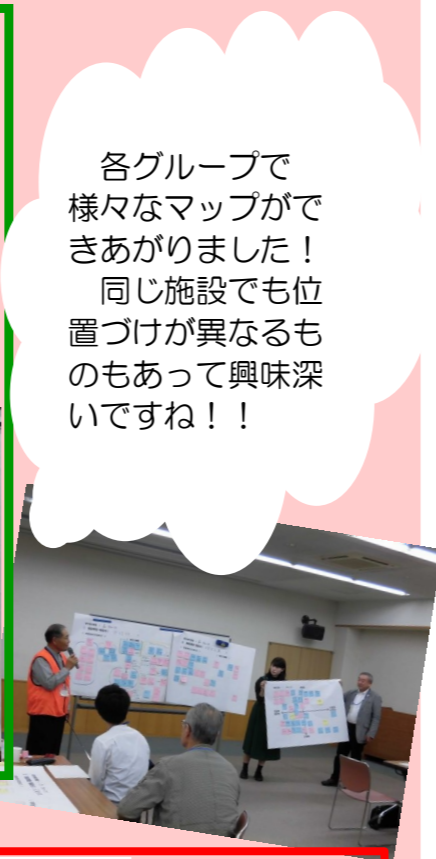
これらの課題は、一緒に検討できるかもしれないね！



市役所、体育館、集会所、老人憩の家、文化の家、… 4グループきれいに分れましたね…。



★グループワーク結果



いろいろな施設ごとにみんなで課題を考えると、そこにはいくつかの共通する要素が見いだせそうですね！

これらを踏まえて、今後公共施設全体の総合的な整備・更新・管理・運営にあたって、どんな点に留意していったらいいのか、みんなでじっくり考えて、長久手市の「公共施設等総合管理計画」に提案を出してみよう！！

【次回以降のご案内】

- 第4回（11月11日）
課題に対する提案
- 第5回（11月26日）
総まとめ（結論）

【第4回】 11月11日（土）
【第5回】 11月26日（日）
いずれも13：30から16：30まで
会場：まちづくりセンター2階 集会室1

いつも参加している方も、はじめての方も、みんなで一緒に考えましょう！！

グループ	広域的な施設		狭域的な施設	
	本来求められるもの	現状の課題	本来求められるもの	現状の課題
A	市役所		街区公園	
	戸籍、税、健康保険などの窓口業務	今後の少子高齢人口減少社会を見据えた自治体の将来像	いつでも気軽に使える	雑草
	建物が建てたこと	市役所業務が拡大している	体を動かす（虫スポーツ）（自然体験）	雑草
	住民の安心安全	縦割りの行政で、横の連携が弱い	健康（泳、芝生、花、緑）	駐車場が足りない
	業務を遂行する人材	各種サービスのワンストップ化（利便性向上）	地域交流（つながり）	高齢者にとっては、家からすぐ近くにあるとよい
	自治体行政への市民参加の促進	市民と議員、市民同士が話し合いの場所	安全に使える	あまり関わっていない気がする
B	図書館		老人憩いの家・集会所	
	本の貸し借り	市の図書館をほとんど利用していない	歩いて行ける	鍵がかかっている、使い勝手が悪い
	文化の記録・保存	読書スペースの充実	若者男女でも使える	管理や料金の主体が分かりづらい
	歴史的文献の保存	駐車場が足りない	高齢者にも使える	バリアフリーが不十分
	勉強する場所	移動図書館があってもいい	多様性	駐車場が足りない
	アクセスのよさ	本が買えてもいい	活気のある場所	一部の人が利用していない（憩いの家は、高齢者専用）
C	秋ヶ池体育館		集会所	
	市民の健康増進・体力向上	今後10年維持可能性	交流の場	維持管理の負担（費用など）
	交流の場	公営施設を利用したイベントの充実（マルチユースなど）	比較的家の近くにある	一部の人が利用していない（憩いの家利用が少ない）
	スポーツの道具	駐車場が足りない	会費する場所	使い方が分からない
	気軽に使える	休館期間やプールがない	勉強する場所	何のために使うのか分かりづらい
	安価な利用料	運動器具の更新	習い事の場所	計画的な修繕、保全の必要性
D	県立芸術大学		野球場・スポーツの杜	
	芸術鑑賞	施設の老朽化		
	人材育成	市民への開放		
	地域に開かれた学校（学校祭、市民講座等）	市民にとって何をやっているか分かりづらい		
	文化の家		野球場・スポーツの杜	
	市民が文化活動を行う場（練習・発表）	利用料金が安い	スポーツをする場	予約がいっぱいでなかなか利用できない
市民が文化芸術を楽しむ場（鑑賞）	維持コストが重そう	スポーツをする場	空いているとき予約なしでも利用できない	
市の文化行政発表の場	市民全体というより、一部（プロ）の利用が多い	市民が気軽に体を動かす場	立地的に交通の便が悪い	
市の顔（式典会場などにも使用できる）	予約がいっぱいでなかなか利用できない	交流の場	設備の充実	
習い場としての機能	ホールの構造が運動向きでない（バリアフリーに配慮）	いつでも使える場所	汎用性がない（野球場に限定）	
	他の自治体よりホールの規模が小さい（700人以上収容可能なところも）	イベント会場としてもよい	近隣市町との相互利用を考えた方がいいのでは	

